

学位審査基準等

博士前期課程

各審査委員が、修士論文、特別課題研究あるいは課題研究の内容および発表・質疑応答についてそれぞれ総合的に評価し、各100点満点で採点を行います。各審査委員の、修士論文（特別課題研究報告書または課題研究報告書）、発表・質疑応答の評価がそれぞれ60点以上の場合に、修士論文等を合格とします。具体的には、以下の項目について審査を行います。

修士論文の審査項目

- 研究の背景と目的が十分に理解されている。
- 研究課題に関する知識の整理が十分になされている。
- 研究計画や研究方法について十分な吟味がなされている。
- 実験データや理論計算の結果についての整理と解析は十分になされている。
- 得られた結果に基づく結論や仮説の展開は論理的である。
- 参考文献は適切である。
- 論文および口頭発表は論理的に分かりやすく構成されている。

特別課題研究の審査項目

- 研究の背景と目的が十分に理解されている。
- 研究課題に関する知識の整理が十分になされている。
- 研究計画や研究方法について十分な吟味がなされている。
- 実験データや理論計算の結果についての整理と解析は十分になされている。
- 得られた結果に基づく結論や仮説の展開は論理的である。
- 今後の展開が具体的に考えられており、合理的である。
- 参考文献は適切である。
- 論文および口頭発表は論理的に分かりやすく構成されている。

課題研究の審査項目

- 研究の背景と目的が十分に理解されている。
- 研究課題に関する知識の整理が十分になされている。
- 研究計画や研究方法について十分な吟味がなされている。
- 実験データや理論計算あるいは調査の結果についての整理と解析は十分になされている。
- 今後の展望が適切に述べられている。
- 参考文献は適切である。
- 論文および口頭発表は論理的に分かりやすく構成されている。

「修士論文等審査手続きおよび修士論文、特別課題研究報告書、課題研究報告書の作成の手引き」と論文審査願等書式は、研究科ホームページに掲載されています。

博士後期課程

博士後期課程修了要件に示されたスーパーバイザーの中間審査では、(1) 想像性の豊かな研究者に求められる素養深い学識、(2) 研究推進力、融合展開能力、(3) プレゼンテーション能力、(4) 語学力を含めた国際性とコミュニケーション能力、(5) 研究経営能力 の到達度を評価します。

博士前期課程修士論文の以下の 7 つの審査項目に加え、博士論文に記述された内容と博士論文提出者の科学に対する考え方、取り組み方についての 論理性が問われます。

- 研究の背景と目的が十分に理解されている。
- 研究課題に関する知識の整理が十分になされている。
- 研究計画や研究方法について十分な吟味がなされている。
- 実験データや理論計算の結果についての整理と解析は十分になされている。
- 得られた結果に基づく結論や仮説の展開は論理的である。
- 参考文献は適切である。
- 論文および口頭発表は論理的に分かりやすく構成されている。

「博士論文作成の手引き」は、研究科ホームページに掲載されています。